

優秀賞

今になって気づいた兄ちゃんのやさしさを

福井県 越前市北日野小学校四年 服部 朱莉

私には四さい年上の兄ちゃんがあります。

今、兄ちゃんは中学校二年生ですが、昔は私と一緒に小学校の集団登校をしていました。その時の事をふり返ると、いくつかの兄ちゃんの行動でやさしさいっぱいのお話をしてくれていたことに気付きました。

一つ目は、朝の集団登校で車が通るたびに、いつも兄ちゃんが私の左がわに来て歩いてくれたことです。そのとき、兄ちゃんは、集団登校の班長で、いつも私の前を歩いていました。車が通るたびに私の左がわに来て歩いてくれたときは「歩みにくい」「私を前に歩かせようとしている」と私は思い、いやな気持ちでした。

しかし、この間お父さんから、「車とすれちがう時、あぶないから右がわに行きなさい。」

と言われた時に、兄ちゃんが昔、車が通るたびに私

の左がわに来て歩いたのは、車が私の横を通る時のきけんから私を守ってくれたのだと気付きました。また、「雨の日、車が走る水しぶき」からも、私を守ってくれたことに気付きました。このような兄ちゃんの行動に、今になって、兄ちゃんのやさしさを感じ、感動しました。

二つ目は、朝の集団登校でさるに出会った時、班長だった兄ちゃんが、みんなをつれて走り出したことです。その時私は、「あんなにかわいいさるなのに」「もうちょっとさるを見たかったな」と思い、ざんねんな気持ちになりました。

しかし、今ニュースでくまのことを考えると、兄ちゃんは「もしかしたら、さるが私たちをおそってくるかもしれない」と考え、さるからにげるために走り出し、私やみんなを守ってくれたのだと気付きました。このことに気付いて私が一番感動したことは、悪い出来事になる前にみんなを守ったことです。

今、私はこのような兄ちゃんのやさしさに気付くことができているですが、その時は、気付かせませんでした。これからは、そのときの行動だけで考えず、どうしてそのような行動をするのかを考えていききたいと思います。そして、今までたくさん守ってくれた兄ちゃんに、私もやさしくできたらいいなと思います。

